

## ■第一回 原子力安全部会賞（講演賞）について

原子力安全部会では、原子力安全そのものを対象とし、専門領域に横串を通すような研究発表を奨励するために原子力安全部会賞（講演賞）を設立し、2018年秋の大会から表彰活動を開始しました。

ご応募いただいた7件の講演を審査した結果、下記の講演が「第一回原子力安全部会賞（講演賞）」に選ばれましたので、お知らせします。

### 記

1. 講演題目：シビアアクシデント時の原子炉冷却系条件におけるセシウム及びヨウ素の気相化学反応に与えるホウ素の影響
2. 講演者：三輪周平氏（日本原子力研究開発機構）
3. 表彰理由：

この発表は、シビアアクシデント時の原子炉冷却系温度条件においてセシウム及びヨウ素の気相化学反応に与えるホウ素の影響を明らかにするために、ホウ酸とヨウ化セシウムを水素又は水蒸気雰囲気高温領域から低温領域まで移行させる間に反応させ、ガス状のヨウ素とセシウムの移行量を調べたものである。セシウムは、ホウ素の有無にかかわらず、ほぼ全量がエアロゾルとして移行する一方で、ヨウ素は、水蒸気雰囲気及び水素雰囲気の両方において、ホウ酸蒸気存在によって、有意量がガス状ヨウ素として移行することを明らかとした。

発表された実験手法は、シビアアクシデント解析において考慮すべき気相化学反応をスクリーニングするのに有用である。実験体系中で生じている現象に関する講演者の説明は、質疑応答を含め明快であった。また、研究対象や手法は、核燃料・水化学・熱流動・原子力材料といった多領域を包絡したものである。

受賞者には、2019年春の年会において賞状の贈呈を行いました。

以上